

電気火災に注意！

～電気を正しく使って火災を防ぎましょう～

私たちの暮らしに欠かせない電気も、使い方を誤ると火災に繋がってしまいます。電気の使い方や電気火災の内容を理解して、電気火災を防ぎましょう。

■主な電気火災の内容■

・短絡（配線の劣化や傷に注意！）

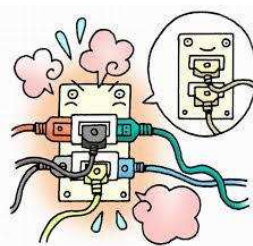


電気コードの配線が劣化したり、傷がつくことなどにより配線の両極（+と-）が直接電氣的に結ばれてしまうと短絡（ショート）を起こして、出火する恐れがあります。

※ 配線が古くなったり、傷んでいたり、劣化して固くなっている場合などは、短絡する恐れがあるので、新しいものに交換しましょう。

また、電気配線の寿命は配線が敷設されている環境にも影響されます。例えば、天井裏・壁の中・床下などの配線は、温度や湿度、汚れなどの影響で寿命よりも早く劣化する可能性があります。

・過電流（たこ足配線はやめて許容電流に注意！）



たこ足配線などにより、定格容量を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。

※ コンセントや延長コードには定格容量が決まっています。

（一般的には15A・1500W）

・トラッキング（コンセントのほこりと湿気に注意！）

ほこりを溜めたまましていると
発熱し発火する場合があります。



プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ほこりや湿気がたまったまま放置しておくと、小さな火花放電が繰り返され、プラグなどのプラスチック部分が炭化し、出火する恐れがあります。（トラッキング現象）

・判断線（コードの引っ張り、折れ、挟み込みに注意！）



電気コードや配線が引っ張られたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより、配線の何割かが切断状態（半断線）になり、その部分が発熱し出火する恐れがあります。

また、コードを束ねたり、巻いたりすると熱がたまり、出火する恐れがあります。

長年ご使用の家電製品にこんな症状が出ていませんか？

次のような症状が見られたら使用をやめ、販売店などに相談して下さい。

扇風機・換気扇	<ul style="list-style-type: none">・スイッチを入れても、ファンが回らない・ファンが回っても、異常に回転が遅かったり不規則・回転するときに異常な音や振動がする・モーター部分が異常に熱い又は焦げ臭い・電源コードが折れ曲がったり破損している
洗濯機	<ul style="list-style-type: none">・長年、電源プラグを挿したままにしている、ほこりや湿気がたまっている・アース線がアース端子に確実に取り付けられていない・使用中に異常な音や振動がする
テレビ	<ul style="list-style-type: none">・映像が連続してチラついたり、揺れたりする・テレビ内部に水や異物が入った・電源コードに傷や破れがある

※ 安全基準に適合した電気機器、コードを使用しましょう。

また、電気工事会社では有料で電気の漏電などの検査を行っておりますので、検査をご希望の方はお近くの電気工事会社にお問い合わせください。